

三鷹駅北口エリアのまちづくりについての検討の参考とするため、近隣エリアにお住まい、お勤めの方の過ごし方や意識についてWEBアンケート調査を実施しました。

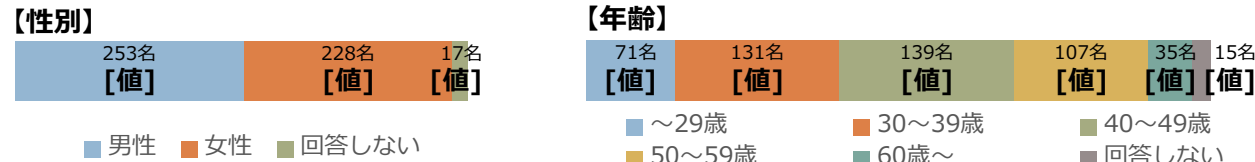
1. 調査概要

内容：三鷹駅北口エリアの印象や関わり方、過ごし方について
 対象者：①近隣エリアに居住・勤務されている方
 ②「三鷹駅北口街づくりラボ」参加企業・団体の従業員・職員・ご紹介者等
 ③武蔵野市役所職員

質問数：11問
 調査期間：平成30年9月6日（木）～11月30日（金）
 回答者数：合計498名



回答者属性（性別・年齢）：



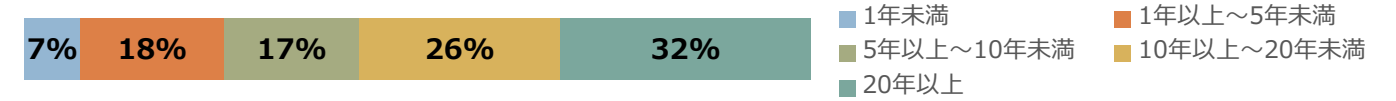
2. 調査結果のまとめ

- 半数以上の回答者が10年以上三鷹駅北口エリアを利用している。
- 中央大通り・かたらいの道・三鷹通りの利用が多く、次いで駅前広場・井の頭通りが通行されている。
- 在住者は平日・休日を問わず通行、市役所職員は平日の利用が多い。
- 全体の半数が週4～5日以上利用。在住者は86%が週4～5日以上利用。
- 全般的に利用頻度が低い。比較的多い夕食・飲み会・買い物でも月1回以上利用している人は3割程度。
- 飲食店・居酒屋、喫茶店、スーパー・パン屋・ドラッグストア、その他利便施設（レンタル店・スポーツジム、金融機関・医療機関等）等がよく利用されている。
- 好きな場所としては、タワーズマルシェ、玉川上水沿い、横川グラウンド脇の遊歩道、野鳥の森公園、駅周辺の樹木等が挙げられている。
- パブリックスペースの活用方法として、マルシェやオープンカフェ、景観づくり、イルミネーション、公衆WI-FIは8割以上の回答者が三鷹駅北口エリアにふさわしい取組であると感じている。次いで地域活動の公開・参加スペースの評価が高い。
- パブリックスペースを活用したにぎわいづくりについて、9割以上の回答者が行うべき・行ってよいと考えている。特に企業・商店会・団体では参加意向が高い。
- 三鷹駅北口エリアに居住・通勤していることに対し、半数以上が誇らしい・嬉しいと感じている。特に在住者、企業・商店会・団体に愛着が強い。

3. 調査結果

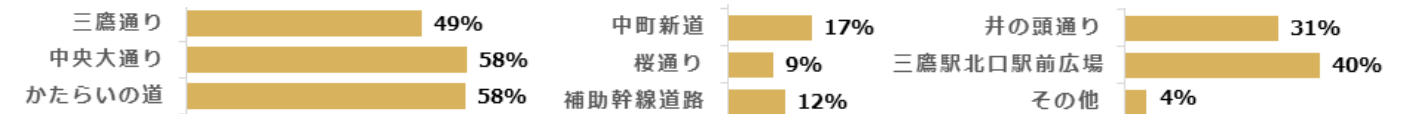
① 三鷹駅北口エリアの利用年数

- 10年以上の利用が半数以上（全体）



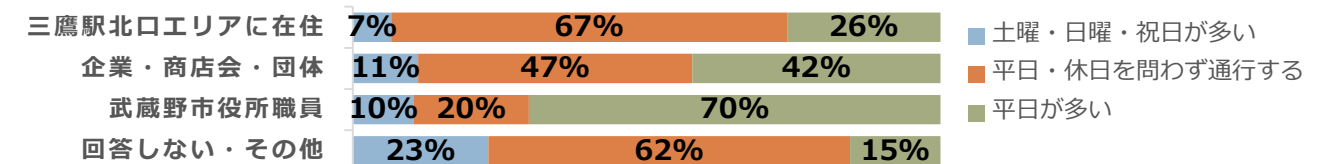
② 三鷹駅北口エリアで日常的に通る道（複数回答可）

- 中央大通り・かたらいの道・三鷹通りが多く、次いで駅前広場・井の頭通りが通行されている。（全体）



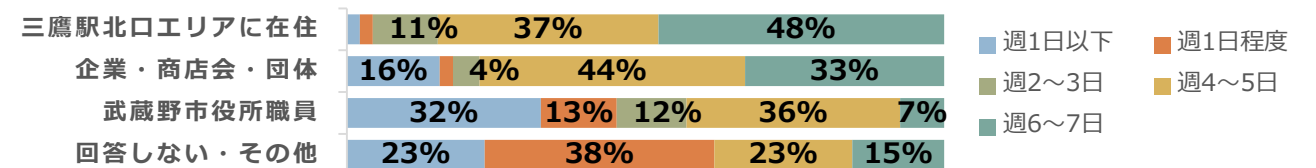
③ 三鷹駅北口エリアを利用する日

- 在住者は平日・休日を問わず通行、市役所職員は平日の利用が多い。



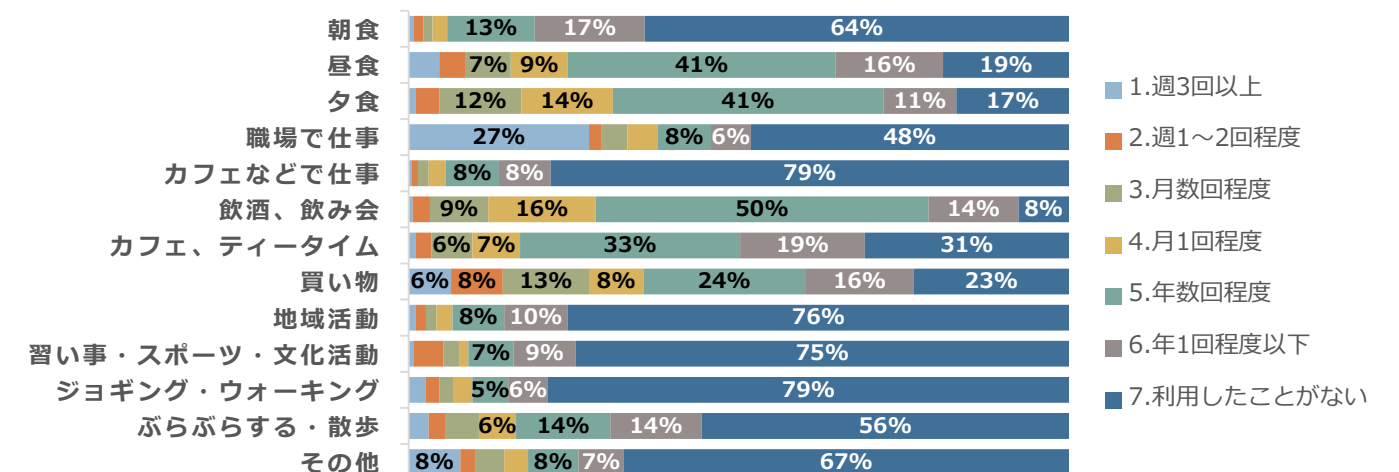
④ 三鷹駅北口エリアの利用頻度

- 全体の半数が週4～5日以上利用。在住者は86%が週4～5日以上利用。



⑤ 三鷹駅北口エリアでの過ごし方・頻度【居住以外】

- 全般的に利用頻度が低い。比較的多い夕食・飲み会・買い物でも月1回以上利用している人は3割程度。

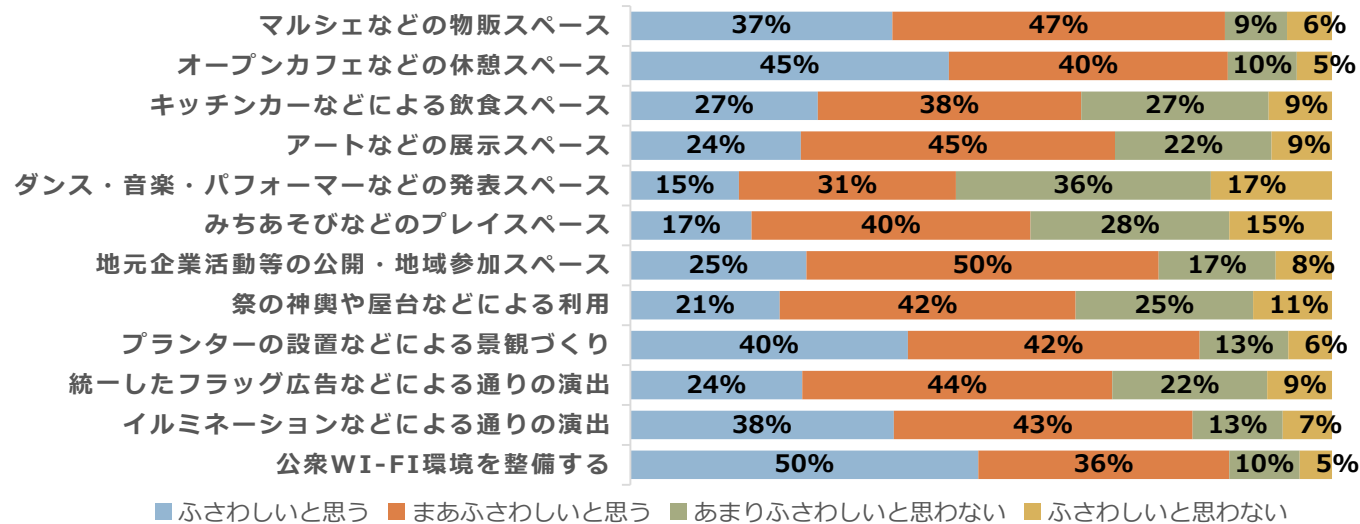


⑥ 三鷹駅北口エリアでよく利用する店、スポット、好きな場所（複数回答のあったもの）

飲食店・居酒屋	モンテローザ系の居酒屋、易木屋、ハモニカ三鷹、ニシクボ食堂、モスバーガー、松屋、松乃屋、加賀屋、新井屋、武蔵野キャンパス、シズラー、ニクータ、AZ DINING、SALVATORE CUOMO & BAR
喫茶店	ブルーバード・cafe terrasse verte・ドトールコーヒー、エクセルシオールカフェドクリエ
スーパー等	キッチンコート（京王ストア）、東急ストア、紀伊国屋、ドラッグストアクラウンベーカーリー、神戸屋などのパン屋
その他 便利施設等	TSUTAYA、コナミスポーツプラザ、メガロス、三鷹駅ナカの店舗、医療機関、金融機関等
その他 好きな場所等	タワーズマルシェ 玉川上水沿い、横川グラウンド脇の遊歩道、野鳥の森公園、駅周辺の樹木

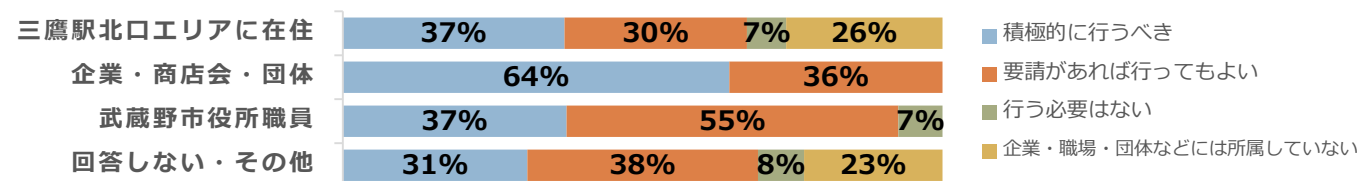
⑦ 三鷹駅北口エリアにふさわしい取組み

- マルシェやオープンカフェ、景観づくり、イルミネーション、公衆 WI-FI は 8 割以上の回答者が三鷹駅北口エリアにふさわしいと感じている。次いで地域活動の公開・参加スペースの評価が高い。



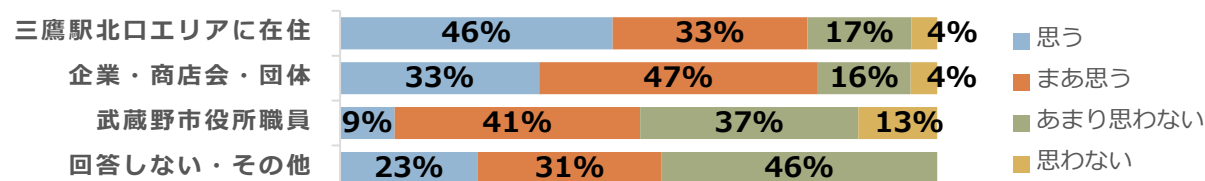
⑧ 公共的空間を活用したにぎわいづくりへの参加意向

- 9 割以上の回答者が行うべき・行ってもよいと考えている。特に企業・商店会・団体では参加意向が高い。



⑨ 三鷹駅北口エリアへの愛着（居住・通勤していることに誇らしい・嬉しいと思うか）

- 半数以上が誇らしい・嬉しいと感じている。特に在住者、企業・商店会・団体に愛着が強い。



⑩ 三鷹駅北口エリアのにぎわいづくりに向けたアイデア（主な意見）

- 屋外でのんびり休憩できるようなオープンスペース(整備されたテーブルやパラソル、ベンチ)がほしい。
- 歩行者天国の道をつくる。カフェを増やす。小さな展示スペース・ミュージアムをつくる。
- 子どもの遊び場や親子の集い場、多世代の交流の場の整備。
- パークレットの実施。
- 駅前ロータリーからの景観づくりや中町新道北側の駐輪場の地下化・跡地のイベントスペース化。
- 催事の際に利用できる駐輪場の整備。
- 沿道企業のオープンハウスの実施。
- 文化的な趣のある「絵本」の市やモノづくり市など他の地域では見られないような催しの実施。
- かたらいの道を中心としたテーマを決めたイベントの開催。
- 玉川上水近くの公開空地への立ち飲みスペースの設置・地元店舗による日替わりの出店。
- センベロの定期開催。飲食店が少ないためおしゃれなお店が増えたら嬉しい。
- プラレールカフェの実施。
- 昼食に困るので、飲食店を狭いエリアでたくさん出店してほしい。
- スターバックスやタリーズなどの人気カフェの招致。

⑪ 自由意見（主な意見）

- 賑わうのもいいが、日常的に集まるのは住民や通勤などで三鷹北口を利用している人ぐらいがよい。静かで落ち着いた生活ができるところが魅力であるため、吉祥寺駅周辺のように騒がしくしてほしい。
- 北口に住んでいる人、利用する人が参加しやすいイベントなどを通して、「このまちの良さに気づいてくれる」ことが大切である。
- 八丁通り沿いの古い飲食店がリニューアルオープンしておもしろい地域を形成している。芸能劇場の裏のスペースや東急ストアの裏も小規模ながら昔ながらのお店が頑張っている。これらを活かしてまちづくりをするのもひとつではないか。吉祥寺や武蔵境とは違った魅力が出せるとよい。
- 南口との棲み分けをどのように見せていくのか。交通の利便性・結節点とまちづくりの融合をどのようなコンセプトで行うのか、筋書が必要である。
- 南口側と一体的な取組みはできないのか。
- 活性化により人を呼ぶのであれば、北口駅前広場の歩行者やバス、一般車の動線を考慮した方がいい。
- 駅とバスターミナルが隣接し過ぎていて単に乗り換えのための場所という感じが否めない。周辺に客が回遊するような魅力ある建物もない。逆に、魅力ある施設をつくれれば回遊性が生まれるかもしれない。
- 駐輪場の空きが無いので、三鷹駅北口エリアと三鷹駅に行く頻度が激減した。
- 駐輪場も大事だが、落ち着いた景観にしてほしい。
- 三鷹北口でイベントをするにはスペースが狭すぎる。駅に行く人には迷惑になる。場所を変えるか、スペースを広くする工夫が必要だと思う。
- おしゃれ、おいしいお店があるが認知されていない。
- 公共空間をもっと柔軟に活用すべきだと思う。例えば道路を使うと中には苦情をいう人もでてくるかもしれないが、それ以上に街の賑わいや豊かな暮らしの実現につながる。とりあえず取り組んでみて、駄目だったら変えていけばよい。
- 市が牽引していくのは限界がある。きっかけづくりや、市でしかできないことは積極的に行っていくと思うが、地元や外からの人が自発的にやる機運を高めていく必要があると思う。

問合せ先

武蔵野市 都市整備部 まちづくり推進課

所在地：〒180-8777 東京都武蔵野市緑町2-2-28 4階東棟

T E L : 0422-60-1872

MA I L : SEC-MACHIDUKURI@city.musashino.lg.jp 平成30年12月 発行